

急な要請にもかかわらず、お集りいただき感謝申し上げます。

昨日公表されました、「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地への訓練移転」及び「令和6年度日米共同統合演習」につきまして、本日、北海道防衛局にて「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」が開催され、説明がございました。詳細につきましては、担当から説明させていただきます。

【神保まちづくり推進室長】

まちづくり推進室の神保と申します。

私から説明させていただきます。

はじめに、1ページの「米軍再編に係る三沢飛行場から千歳基地等への訓練移転について」をご覧ください。

1の三沢飛行場から千歳基地への訓練移転につきまして、

「訓練期間」は、10月21日（月）から11月1日（金）まで、

「使用基地」は、千歳基地、

「使用空域」は、北海道西方空域及び三沢東方空域、

「訓練内容」は、戦闘機戦闘訓練等、

「参加部隊」は、米軍が三沢基地所属の第35戦闘航空団、航空自衛隊が千歳基地所属の第2航空団となっております。

「参加規模」はタイプⅡで、米軍はF-16が12機程度で人員が180名程度、航空自衛隊はF-15が12機程度でございます。

なお、2番目以降は他基地の訓練のため、説明を省略させていただきます。

次に、3ページの要請事項をご覧ください。

北海道防衛局に対しましては、本日の連絡協議会において、北海道、千歳市、苫小牧市の3者で構成する「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」から、協定の遵守など8項目の要請を行うとともに、下段にありますように、本市といたしましても、沖縄の負担軽減などについて、個別要請を行ったところでございます。

次に４ページの令和６年度日米共同統合演習（実動演習）「キーン・ソード 25」についてをご覧ください。

今回の訓練移転につきましては、三沢飛行場から千歳基地に訓練移転として展開した上で日米共同訓練を実施し、同じ時期に実施する日米共同統合演習（キーン・ソード 25）にも参加することとしています。

９ページをご覧ください。

千歳基地関係分につきましては、

「期間」は、１０月 23 日（水）から 11 月 1 日（金）まで、

「参加部隊」は、右側に掲載しておりますが、訓練移転で参加した米軍 F-16 が 12 機、航空自衛隊の F-15 が 14 機となっております。

次に 10 ページをご覧ください。

北海道防衛局及び第 2 航空団に対し、記載の 4 項目について、本日要請を行っております。

これら 2 つの訓練の騒音測定につきましては、市の常時測定局 6 局、北海道の常時測定局 9 局、国の常時測定局 1 局のほか、国及び市の臨時測定地点が各 3 局の、計 22 局の体制で行う予定でございます。

市の体制であります、本日、「苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」を開催し、庁内体制を整えており、市民の安全・安心の確保に万全を期してまいりたいと考えております。

最後になりますが、今後のスケジュールといたしましては、10 月 8 日に開催予定の総合開発特別委員会で、市議会への報告を行うほか、航空機騒音対策協議会を開催し、説明を行ってまいります。

また、市のホームページやフェイスブックへの掲載、新聞の市役所だよりなどで、訓練に関する情報の市民周知を図るとともに、商工会議所など関係団体への報告、航路下地域への周知チラシの配布などをこれまでどおり行っております。

私からは以上でございます。

【市長】

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。